

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	178	事業名	観光リーフレットの作成
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光情報
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	文京区のような観光資源等を紹介するリーフレットを作成して無償配布し、一般観光客の区への誘致を図ります。		
手段	区内観光施設及び名所・旧跡等観光資源を紹介する観光リーフレット及び食に関するリーフレットを、文京区観光協会に補助金を交付して作成し、本区の魅力を紹介するとともに、文京区観光インフォメーション、シビックセンター展望ラウンジ、東京都観光情報センター及び花の五大まつり等の会場等で配布し、観光客の誘致を図ります。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
作成部数	部	129,000	141,000	81,000	57%	179,000	173,000	97%	116,000

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	2,725	2,830	2,189	5,275	4,783	3,540
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,725	2,830	2,189	5,275	4,783	3,540
所要人員 B	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,374	1,363	1,353	1,389	1,358	1,383
総経費 E=A+D	4,099	4,193	3,542	6,664	6,141	4,923

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	各種まつり会場、観光ガイド事業、各種イベントの他、区外からの観光客誘致を目的に、地域情報センター（日本橋）を含め都内3か所及び東京ドームホテルなどにおいて配布等を実施しました。 それらの成果もあってか「観光ガイドマップおさんぼくん」は、地域情報センターにおいて都内第1位となり、多くのメディアにも取り上げられ、利用希望等の反響がありました。	【成果】	リーフレットの見直しを検討するため、作成部数を必要最小限に止めました。新たに丸の内KITTE内東京シティアイにおいて文京区専用ラックを設置し、パンフレットの配布を実施しました。 配布部数は例年並みを維持しましたが、外国人観光客が多く来訪する都内施設での配布の成果が、「観光ガイドマップおさんぼくん」・「おいしゅうございまつぶ」のどちらも外国語版の配布数を伸ばしており、前年度と比べ、外国語版年間合計配布部数は6,000部以上の増加となりました。
【課題】	リーフレットの評判はまずまずではありますが、成果が具体的に目に見えにくいものとなっています。 また、2020年オリンピック・パラリンピックに向けて外国人旅行者向けの施策等が課題となります。	【課題】	2020年オリンピック・パラリンピックに向けて外国人旅行者向けの施策等が引き続き重要となっています。観光協会や都内の各施設と連携し、外国人旅行者に効果的な情報発信をしていくことが必要となります。 また、リーフレットのWeb・携帯端末との連携の強化が課題となっています。
【成果】		【成果】	食の文京ブランド100選の改選を行い、「おいしゅうございまつぶ」を改訂しました。英語版・簡体字版の改訂では、外国人の利便性を考慮して、新たにクレジットカード対応の可否と英語メニューの有無の表記を加えました。 在庫状況を勘案し、作成部数は当初計画を下回りましたが、「おさんぼくん」・「おいしゅうございまつぶ」を合わせた配布部数は前年度比約4割増となりました。
【課題】		【課題】	外国人観光客の増加に対応するため、外国人が手に取りやすい配布先の検討を含め、効果的な配布先を精査しながら広げていくことが必要です。平成28年度予定をしている観光協会ホームページのリニューアルと合わせ、リーフレット情報のWeb・携帯端末での発信方法を検討し、実施することが課題となります。
指標達成度		26年度	27年度
		A	C

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①「おさんぼくん」は、区内全域の地図と観光情報がまとまっている利便性の高さに評価の声が挙げられています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	「おいしゅうございまつぶ」の改訂に続き、「おさんぼくん」の内容を見直し、より区の魅力が伝わるリーフレットの作成を目指します。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 「おいしゅうございまつぶ」改訂終了による補助金の減 △1,735千円
28年5月末	縮小	③ 所要人員の考え方 常勤職員 2人×0.1=0.2人 ④ 現状維持の理由

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	179	事業名	フィルムコミッションによる観光振興
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	映像制作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影を行うことを通じて、メディアを活用した区の情報発信を行うとともに、ロケ地見学など観光振興による地域の活性化を図ります。		
手段	ホームページやフェイスブック、ツイッターによる情報提供等により、映画、テレビドラマ、CM等の映像制作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影支援を行うことを通じて、区の情報発信を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
相談・連携件数	回	609	600	691	115%	609	664	109%	618

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	3	72	1	146	69	59
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	3	72	1	146	69	59
所要人員 B	0.25	0.25	0.10	0.20	0.20	0.10
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,717	1,704	677	1,389	1,358	691
総経費 E=A+D	1,720	1,776	678	1,535	1,427	750

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	映像制作者からの問い合わせは年間約120件となり、うち10件に撮影協力を行いました。区HP及びフェイスブック並びにツイッター等を活用し、広く情報発信を行いました。 区有施設等における撮影に関する取扱要綱を定め、区有施設等の撮影受入体制調査を行いました。	【成果】	映像制作者からの問い合わせは約140件となり、うち13件に撮影協力を行いました。特に区の観光施策として重点的に推進するまちあるき関連の撮影案件については積極的に受入し、7件に撮影協力を行いました。区HP及びフェイスブック並びにツイッター等に撮影実績を掲載することで区の事業の認知度が高まり制作会社からの問合せも増加しました。区有施設の各担当課と協議連携し、最短で3日程度で撮影受入事務手続きを終えることができました。
【課題】	策定した要綱の安定的運用を行う必要があります。また、映像制作会社及び施設所管課等と密な相談及び協議を行うことで、事務手続き期間の短縮化を行います。撮影相談・協力件数の増加にともなう業務の増加が課題となっています。	【課題】	引き続き増加している撮影相談・協力件数の増加に伴う業務の増加への対応が必要です。あわせて担当内での撮影相談受入体制も課題となります。今後はますますより上質な案件への撮影協力が求められます。
指標達成度		26年度	27年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①区	隠れた名所等が紹介されることや地元地域が特集されることについて、楽しみにしている・面白い内容であったといった意見をいただいています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	区内ロケ撮影候補地に関する情報提供を行うとともに、映像制作者からの様々な問合せに対応します。区有施設等における撮影に関する取扱要綱を根拠に適切に審査、承認し、使用料の徴収を行います。今後は撮影立会手法についても検討し、改善を図ります。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 旅費の減 △32千円 一般需用費の減 △11千円 備品購入費の減 △44千円
28年5月末	改善・見直し	③ 所要人員の考え方 常勤職員 1人×0.1=0.1人 ④ 現状維持の理由

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	180	事業名	観光インフォメーションの運営
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	まちあるきを行う来訪者に対して、旬の情報を迅速・適切に提供するため、観光インフォメーションを運営します。		
手段	観光インフォメーションにおいて、お客さまのニーズに的確に応える情報提供を行う。またシビックセンター展望ラウンジに映像設備を設置するなどし、まちあるきを行う来訪者が立ち寄る可能性がある区内の観光拠点を充実させ、情報発信機能を強化していきます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
観光インフォメーションの相談件数	件	5,724	5,896	8,566	145%	6,068	7,116	117%	6,240
(内訳) 来所相談	件	4,323	4,453	6,667	150%	4,583	5,101	111%	4,713
電話相談	件	1,401	1,443	1,899	132%	1,485	2,015	136%	1,527

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	10,699	11,267	11,268	12,638	12,411	11,436
特定財源	191	195	195	251	168	258
一般財源	10,508	11,072	11,073	12,387	12,243	11,178
所要人員 B	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	2,060	2,044	2,030	2,083	2,037	2,074
総経費 E=A+D	12,759	13,311	13,298	14,721	14,448	13,510

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】	森鷗外関連団体との協定締結に伴い、津和野町と観光資料を相互に配架するなど、観光客誘致の手段を広げました。また25階展望ラウンジの資料配架やポスター掲示のほか、広報課作成のDVDの放映により区内観光施設のイメージアップを図りました。	【成果】	25階展望ラウンジでは広報課作成のDVDのほか、花の五大まつりの映像など、時期に合わせた内容を放映することによって旬の情報を発信しました。また関口地域を紹介した観光インフォメーションPRポスターを作成し、区有施設をはじめ、ミュージネット加盟施設や都内観光情報施設で掲出を行いました。それらのPRの成果か、観光インフォメーションに寄せられた相談件数は前年度比で大幅に増となりました。	【成果】	観光インフォメーションを8月にリニューアルオープンしました。約4か月間の地下2階臨時事務室での営業期間は来場者数・相談件数ともに減少しましたが、リニューアル後は接客スペースが拡張し、より過ごしやすい空間になったことで、年間では数値目標を達成することができました。シビックセンター展望ラウンジに外国人観光客が多く訪れることを受け、多言語版のリーフレットを重点的に掲出するなど来場者のニーズに応える工夫を行いました。
【課題】	来所相談件数が増加する中で、狭い接客スペースでは待ち時間が長くなることもあります。また来場者のニーズに応じ、観光施設等のリーフレット数も増加しているため、資料配架の工夫やスペースの充実が必要となります。なお、情報ツールの一つである観光関連のホームページについても今後改善・充実に向けた検討が必要です。	【課題】	次年度は観光インフォメーションのリニューアルにより、接客スペースの拡張が予定されています。これを機に、いかに来場者にとって入りやすく過ごしやすい空間にするか、スペースの有効活用が課題となります。全体に対する割合は低いものの、外国人観光客の来所人数は増加率が高くなっており、対応の強化を図る必要があります。	【課題】	外国人観光客の来所人数が引き続き増加傾向にあり、多言語での観光情報発信が課題となっています。特に外国人観光客の多い展望ラウンジで効果的な情報発信を行うよう、情報を精査し、区内観光の促進につなげる必要があります。また、相談件数の増加に対応するため、ホームページを活用した情報発信の強化が課題となります。
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
		B	A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	まちあるき・道案内などの相談が多く、幅広い質問に対応する知識が求められています。美術館・博物館に関する質問も増加傾向にあり、平成27年度は特に、永青文庫『春画展』やNHK連続テレビ小説『あさが来た』の影響から成瀬記念館『広岡浅子展』についての問合せが多く寄せられました。こうした時代に応じた最新情報の入手及び発信が必要となっています。
②	平成28年度は東洋大学国際観光学科ロボソンゼミが実施する展望ラウンジでのアンケート調査に協力し、外国人も含めた観光客のニーズを把握します。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	改善・見直し	展望ラウンジでのアンケート調査や観光インフォメーションの利用実績等から、観光客の傾向・ニーズ及び区内観光の実態を把握することで、情報発信の内容・手段を検討します。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 観光インフォメーション移転終了による需用費・委託費・備品費の減△1,160千円、リーフレット印刷経費をガイド事業に移行したことによる需用費の減△119千円、リーフレット発送件数の増加等による委託費の増78千円
28年5月末	改善・見直し	③ 所要人員の考え方 常勤職員 (1人×0.2) + (1人×0.1) = 0.3人 ④ 現状維持の理由

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	181	事業名	観光ガイド事業の充実
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	来訪者を温かく迎え、本区を印象付ける魅力の一つとして、区民のおもてなしの心を醸成します。		
手段	区民を中心に観光ガイドを募集し、ガイド技術を十分に育成した後に、事前・当日の募集や来訪者の依頼により、区内観光スポット等を案内する事業を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
観光ガイド事業参加人数	人	1,045	1,045	1,120	107%	1,076	1,172	109%	1,076
観光ガイドボランティア登録者数	人	14	14	14	100%	30	34	113%	30

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	651	989	909	974	930	1,188
特定財源	0	56	62	0	0	0
一般財源	651	933	847	974	930	1,188
所要人員 B	0.15	0.35	0.35	0.40	0.40	0.30
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	1,030	2,385	2,368	2,778	2,716	2,074
総経費 E=A+D	1,681	3,374	3,277	3,752	3,646	3,262

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	スポーツ祭東京2013関連事業として、各会場をスタート地とした「国体応援ガイドツアー」を実施しました。25年度より区内観光ガイドツアーを8コースに拡張しました。年々観光ガイドの認知度も高まり、25年度の参加者はのべ1000人を超えました。	【成果】	第3期養成講座を実施し、21名を新たに観光ガイドとして認定しました。新江戸川公園周辺地域の魅力創出事業の一環として「文の京ガイドツアー」特別編 - 水と緑の関口コース - を実施しました。魅力あるコースの充実や認知度の高まりとともに観光ガイドの利用者数は年々増加し、26年度の参加者は1,120人となりました。
【課題】	ニーズの増に対して観光ガイドの人数不足が課題です。そこで、26年度にはガイドボランティア、観光協会、区が連携し第3期養成講座の実施を実施し、現在のおよそ2倍の人数のガイドボランティアを目指します。	【課題】	養成講座により観光ガイドの人員が増加し、特に新たに認定したガイドを中心にガイドの質の向上が課題となっています。研修を充実させ、ガイドのレベルアップを目指します。また、新規コースを作成し、参加者の多様なニーズに応えるとともに、PR方法を見直し、利用者増を目指します。
指標達成度		26年度	27年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①参加者へのアンケートの結果や参加者の反応では、ガイドの知識の豊富さやスキルの高さが評価されています。一方、新コース作成の要望も増えており、護国寺や鳩山会館のある音羽地域を巡るツアーや坂道を巡るツアーなど様々な新コースが求められています。	②観光ガイド登録者数34人 内文京区民32人

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	区報などで事前募集する「文の京ガイドツアー」新規コースを開発し、定例コース化を目指します。研修を充実させることで、平成27年度にガイドとして認定した3期生を始めとする個々のガイドスキルを向上させます。
27年6月末	拡充	② 当初予算の増減内訳 需用費の増 137千円 委託費の増 86千円 役務費の減 △10千円
28年5月末	拡充	③ 所要人員の考え方 常勤職員 (1人×0.2) + (1人×0.1) = 0.3人
		④ 現状維持の理由

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	182	事業名	文の京の観光促進タウンガイドミーティング
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	アカデミー推進計画		
所 管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	多様な個人及び団体が自由な意見・アイデアを提案、議論して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も見据えながら観光客のニーズ把握や誘致施策の課題等を明らかにし、新たな発想のもとで観光まちづくりを推進します。		
手段	観光の専門家である学識経験者や、大学、旅行者、観光・商業・交通関係団体等による会議体を設置し、区内の観光資源の活用と魅力発信、おもてなしの心の醸成と環境整備、観光を通じた地域や産業の活性化の推進、効果的な観光施策のための各主体の連携手法等について議論します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
会議開催件数	回		4	4	100%	4	3	75%	—

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		959	171	231	129	
特定財源		0	0	0	0	
一般財源		959	171	231	129	
所要人員 B		0.15	0.15	0.15	0.15	
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944	6,789	
人件費 D=B×C		1,022	1,015	1,042	1,018	
総経費 E=A+D		1,981	1,186	1,273	1,147	

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】 これまで一同に会することのあまり無かった観光関連の各団体がコミュニケーションを図る機会を創出できたことにより、様々な発想で議論いただくことができました。会議の経過を踏まえた新規事業も検討、実施されているなど、連携強化についても一定の成果を見ることができました。		【成果】 会議での議論を生かし、着地型観光施策として「文の京」プレミアム付宿泊プラン事業に、また文化資源と若者・学生の視点を取り入れた施策として、新江戸川公園周辺の魅力創出事業につなげることができました。さらに、会議を通じて各主体がつながり、今後様々な場面での意見交換や連携が可能となる緊密なネットワーク構築ができました。	
【課題】		【課題】 オリンピック・パラリンピックの開催を通過点として、区や地域が、観光を通じた施策をどのように検討、実施していくべきか議論を深めていく必要があります。それらを通じて、区や地域、関連団体等がより一層連携体制の強化などを行い、誰もが訪れたい、魅力とおもてなしの心あふれるまちを実現していく必要があります。		【課題】 2年間の議論でいただいた意見を、今後の区の観光振興に生かすことが必要です。オリンピック・パラリンピックに向けた観光施策の立案も視野に入れながら、本事業によって得られた連携体制を更に強固なものとし、地域一体となつての観光振興を進めていきます。	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
			A	C	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
②区内観光・商業関係団体等から委員の推薦を受けています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳 事業終了に伴う皆減
27年6月末	改善・見直し	③ 所要人員の考え方
28年5月末	終了確定	④ 現状維持の理由

平成28年度 事務事業評価表【A様式】（平成27年度実績）

1 事業の概要			
事業番号	183	事業名	文京花の五大まつり等の支援
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		観光
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	地域の町会・商店会等で組織する各実行委員会が行う「文京花の五大まつり」（さくら、つつじ、あじさい、菊、梅）及び「文京朝顔・ほおずき市」「根津・千駄木下町まつり」の宣伝・広告及び実施に要する経費の一部を助成することを通じて、地域の発展と活性化及び観光客の誘致を図ります。		
手段	各まつりの宣伝・広告及び実施経費の一部を、町会や商店会等を中心に組織された実行委員会に助成します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
来場者数	人	1,715,000	1,681,000	1,771,000	105%	1,706,000	1,750,000	103%	1,731,000

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	10,400	10,400	10,385	10,408	10,399	10,370
特定財源	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,400	10,400	10,385	10,408	10,399	10,370
所要人員 B	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944	6,789	6,913
人件費 D=B×C	5,494	5,451	5,413	5,555	5,431	5,530
総経費 E=A+D	15,894	15,851	15,798	15,963	15,830	15,900

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	東京丸の内や御茶ノ水の観光インフォメーション施設等へのまつりポスターやパンフレット掲出など、特に区外の観光客向けに広報を拡充しました。また、まつり期間中に複数回区HPやツイッターで花の開花やイベント情報を発信することにより、まつりの機運を盛り上げました。	【成果】	文京あじさいまつりには石川県白山市が、文京梅まつりには熊本県上天草市がはじめて観光PR・物産販売等を実施するなど、賑わいを見せました。また、文京朝顔・ほおずき市には新たに牛天神北野神社が会場に加わり、来場者に区の新たな魅力を伝えることができました。新たに東京ドームホテルに特設ラックを設置しパンフレット掲出を行うなど、国内外から訪れる観光客向けに情報発信しました。
【課題】	引き続きまつりや地域の魅力を効果的にPRしていきます。また、まつりに訪れてくれた来訪客に、区内の別な各観光名所等への来訪意欲を促進する取組等を検討する必要があります。	【課題】	まつりの集客とあわせ、周辺地域への来訪を引き続き促進していきます。また、今後は国内外問わず増加すると予想される観光客の地域での受入体制も課題となり、そのためにもより区観光協会や地域との連携が必要となります。
指標達成度		26年度	27年度
		C	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	花の開花状況、見ごろ、付近の観光名所等に関する問合せが多くあります。
②	各まつりは実行委員会形式を採用しており、地元区民が企画運営の実施主体です。
③	東洋大学の学生が、調査研究等を目的に下町まつりの運営及びPR、あじさいまつりのイベントへの参加しています。また、跡見学園女子大学の学生が朝顔・ほおずき市へのイベントに、拓殖大学の学生が下町まつりへのイベントに参加しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	観光客の誘致と地域の活性化につながるよう、引き続き、花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、下町まつりの各実行委員会に運営経費の一部を助成して実施していきます。
		② 当初予算の増減内訳
		他事業との科目整理統合に伴う旅費の減 38千円
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方
		常勤職員 3人×20%=0.6人 非常勤職員 0.5×1人×40%=0.2人 計 0.8人
28年5月末	現状維持	④ 現状維持の理由
		各まつりは、地域の町会・商店会が連携し組織した実行委員会により主体的に運営されており、区としても引き続き誘客及び地域の活性化につながるよう、PR等の支援を続ける必要があります。